

2019年度 運輸安全マネジメントに関する取り組み

《安全方針》

- ◇ 安全最優先・・・「安全・親切・笑顔」
- ◇ 関係法令の遵守・・・「ルールを守る意識の徹底」
- ◇ 安全管理体制の継続的改善の実施・・・「PDCAサイクルの継続的活用」

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長は、輸送の安全の確保が当社の事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、また、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
- (2) 社長は、社員からの安全に関する声に耳を傾け、日々生じる諸問題に対して速やかに改善に取り組むこととします。
- (3) 会社は、輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより絶えず輸送の安全性の向上に努めます。また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する目標

2018年度の目標およびその達成状況

- (1) 有責重大事故は、0件で目標を達成しました。

2019年度の目標

- (1) 有責重大事故「ゼロ」
- (2) 事故削減件数目標 「前年比50%削減」
構内事故削減件数目標「前年比50%削減」

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

	2016年度	2017年度	2018年度
重大事故件数	0件	0件	0件

4. 安全管理規程

別紙

5. 輸送の安全のために講じた措置および講じようとする措置

- (1) 2018年度の取り組み
 - ①安全設備導入の取り組み

先進安全自動車（ＡＳＶ）を１台導入

②健康管理の取り組み

脳ドック未受診運転士に対して脳ドック検診を実施

定期的なＳＡＳ検査の実施

ストレスチェックの実施

高齢ドライバーの人間ドック受診を実施

定期健康診断の再検査受診徹底

③安全に関する知識向上の取り組み

運輸安全マネジメントセミナーの受講推進

運行管理者研修（基礎・一般）の受講推進

その他外部研修への積極的な参加を推進

（２）２０１９年度の取り組み

２０１８年度の取り組みを継続して実施

６．輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制
別紙

７．輸送の安全に関する教育および研修の計画
別紙

８．輸送の安全に関する内部監査結果並びにそれに基づき講じた措置

２０１８年２月１日～２月２日の２日間に安全統括管理者を責任者とし内部監査を実施した結果、「安全最優先」の方針に基づき、点呼簿、運行指示書等の運行に関する帳票類並びに法定点検の実施状況、日常点検記録などの車輛管理に関する帳票類についても概ね不備が無く安全管理体制の取り組みが継続的に行われていることを確認いたしました。

９．安全統括管理者に係る情報

氏名：波佐 敏成 役職：執行役員 営業本部長

１０．事業用自動車の運転士、運行管理者及び整備管理者に係る情報

運転士 ４６名

運行管理者 ７名

整備管理者 ３名

（２０１９年４月１日現在）

１１．事業用自動車に係る情報

大型 ３７台

中型 ３台

小型 ４台

合計 ４４台（２０１９年４月１日現在）